

ギルド名
グレート剣 (仮)

—ギルドマスター—
アルフィン・クラウゼル

レベル	4	成長点	94	次レベル	34/40
-----	---	-----	----	------	-------

※ここではこれまでのセッションの概要を記載します。

▼セッション1[ポベートールの呼び声]

両親を殺した者を探し出し、復讐するために「何でも屋」として各地を転々としている、アルフィン・クラウゼル、失脚した親友を探すために旅をしている。可愛い子大好きなナルシスト、フラン・ルーグ、ソビの家系だったが突然異世界転移してこの世界にやって来た不良まがいな日本人、ヤクシジ・ジン、有名な傭兵の生まれだったがある切っ掛けで衰退した家系の地位回復のため、名を挙げるべく旅立った、シュリー・アンジュ。4人は様々な事情で同じ神羅城に集い、冒險者となつた。

神羅の意向からギルドに組む事になり、ギルド名を断定的に「グレート剣」とした

【グレート剣】の初依頼は悪夢に囲まれる少女の母親からであった。少女メアははあるプレスレットをしてから毎晩のように悪夢を見続けており、目に見えて衰弱していったという。メアの話では必ず夢の最後に赤い屋根の聖堂に隠し部屋がある、という内容の夢を見るという。情報を元に、メアを連れて街の外にある赤褐色の屋根をした廃聖堂に行き、メアが夢を見た通りに隠しスイッチを押すと確かに地下への階段が現れた。中には無数の白骨があり、その骨の大半はメアと同じプレスレットを身に着けていた。奥に進むとプレスレットと同じ紋章のついた箱があった。門はエムコレントが守り、行きを守る(そこまで守らなかったのであった。

日が當めると目知らぬ宿だった。鍵はかかっておらず、持ち物にまづ異常はない。